



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 小野産業株式会社
コード番号 7858 URL <http://www.onosg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 大介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 青山 政俊

TEL 0282-92-0091

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,142	4.0	97	413.8	59	237.7	57	△50.4
27年3月期第2四半期	2,060	20.8	19	—	17	—	115	37.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.85	—
27年3月期第2四半期	29.95	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年3月期第2四半期	4,454	—	1,624	—	36.5	420.66
27年3月期	4,440	—	1,588	—	35.8	411.42

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,624百万円 27年3月期 1,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,050	0.8	90	251.8	40	96.0	40	△66.4	10.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,605,760 株	27年3月期	4,605,760 株
28年3月期2Q	744,210 株	27年3月期	744,089 株
28年3月期2Q	3,861,651 株	27年3月期2Q	3,862,202 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府日銀による金融緩和策等により企業の収益回復、雇用環境の改善が続く中で個人消費の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとする一部の新興国で経済の減速やユーロ圏における南北対立など、世界的な景気の下振れ懸念をかかえております。

このような環境下、当社は、自動車分野、医療・食品分野、コンビニエンス向け設備や遊技部品等の産業資材分野の顧客領域に、当社独自技術「RHCM(高速ヒートサイクル成形)技術」を主軸とする高い技術力を武器に営業を積極展開してまいりました。収益の向上については、生産工程の効率化、品質の継続的改善により歩留りの向上を図り、製造原価の低減を推進してまいりました。

このような取り組みにより、当第2四半期累計期間の売上高は21億42百万円(前年同四半期比4.0%増)となりました。収支は、貸倒引当金戻入額の計上により販売費及び一般管理費が44百万円減少したことから、営業利益97百万円(前年同四半期比413.8%増)、経常利益59百万円(前年同四半期比237.7%増)、四半期純利益57百万円(前年同四半期比50.4%減)となりました。なお、四半期純利益は、前年同四半期に投資有価証券売却益1億8百万円を特別利益に計上したこと等により、前年同四半期に対し減少となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

① 成形品セグメント

本セグメントは、自動車、医療・食品、電機、産業資材分野の部品や完成品を受注生産・販売するセグメントです。

当第2四半期累計期間における売上高について、自動車分野は、前期から量産を開始した自動車内装部品が順調に推移し売上高は増加いたしました。医療・食品分野は、医療機器部品が順調に推移したものの、食品容器等の売上が減少したことから微減となりました。電機分野は、客先での内製化拡大により減少いたしました。産業資材分野はコンビニエンス向け設備の新規受注により増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は19億64百万円(前年同四半期比4.3%増)、セグメント利益は1億85百万円(前年同四半期比20.4%増)となりました。

② 金型・技術セグメント

本セグメントは、金型売上及び当社独自技術を供与したライセンス収入や、顧客の要望により海外で生産委託した売上からのコミッション収入、RHCM成形用の機械装置など技術資源を源としたセグメントです。

当第2四半期累計期間における売上高については、電機分野向けが減少したものの、医療・食品分野向けの医療機器部品用金型を新規受注したことにより金型売上は微増となりました。

この結果、本セグメントの売上高は1億78百万円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益は29百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、44億54百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の減少31百万円があったものの、商品及び製品の増加32百万円、受取手形及び売掛金の増加17百万円等によるものです。

負債合計は、28億30百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金の増加2億57百万円があったものの、短期借入金の減少2億円、流動負債その他の減少68百万円等によるものです。

純資産合計は、16億24百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加38百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ31百万円減少し、11億59百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

貸倒引当金の減少49百万円、その他36百万円、売上債権の増加17百万円、たな卸資産の増加14百万円等の減少要因があったものの、減価償却費67百万円、税引前四半期純利益の計上59百万円等の増加要因により、当第2四半期累計期間において営業活動の結果得た資金は6百万円(前年同四半期は56百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出67百万円等の減少要因により、当第2四半期累計期間において投資活動に用いた資金は68百万円(前年同四半期は1億円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少2億円、長期借入金の返済による支出1億1百万円、配当金の支払額19百万円等の減少要因があったものの、長期借入れによる収入3億50百万円の増加要因により、当第2四半期累計期間において財務活動の結果得た資金は29百万円(前年同四半期は15百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年3月期第2四半期(累計)及び2016年3月期通期の業績予想につきましては、2015年5月14日に公表しました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日(2015年11月10日)公表の「平成28年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異、営業外費用の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,190,857	1,159,074
受取手形及び売掛金	1,187,123	1,204,443
商品及び製品	121,531	153,974
仕掛品	89,443	66,263
原材料及び貯蔵品	91,670	96,552
その他	21,942	26,232
貸倒引当金	△49,169	—
流動資産合計	2,653,400	2,706,540
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	813,068	790,384
機械及び装置(純額)	185,968	166,664
土地	249,342	249,342
その他(純額)	72,370	72,057
有形固定資産合計	1,320,750	1,278,448
無形固定資産	5,787	5,386
投資その他の資産		
投資有価証券	17,707	15,459
投資不動産(純額)	236,947	236,672
保険積立金	176,669	182,908
その他	29,697	29,355
投資その他の資産合計	461,021	464,396
固定資産合計	1,787,559	1,748,231
資産合計	4,440,960	4,454,771

(単位:千円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2015年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	798,007	784,323
短期借入金	1,295,000	1,095,000
1年内返済予定の長期借入金	155,785	146,717
未払法人税等	10,488	6,255
賞与引当金	23,000	30,000
その他	200,551	132,407
流動負債合計	2,482,832	2,194,703
固定負債		
長期借入金	253,580	511,070
退職給付引当金	45,486	53,306
役員退職慰労引当金	58,371	61,338
その他	11,937	9,959
固定負債合計	369,374	635,675
負債合計	2,852,206	2,830,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,916	595,916
資本剰余金	744,503	744,503
利益剰余金	544,126	582,180
自己株式	△298,219	△298,267
株主資本合計	1,586,326	1,624,332
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,426	60
評価・換算差額等合計	2,426	60
純資産合計	1,588,753	1,624,392
負債純資産合計	4,440,960	4,454,771

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上高	2,060,891	2,142,808
売上原価	1,880,180	1,928,023
売上総利益	180,710	214,784
販売費及び一般管理費	161,686	117,036
営業利益	19,024	97,748
営業外収益		
受取利息	178	156
受取配当金	2,960	102
受取賃貸料	8,192	8,106
受取補償金	—	3,570
その他	7,297	3,396
営業外収益合計	18,628	15,331
営業外費用		
支払利息	16,822	14,130
経営統合関連費用	—	34,875
その他	3,092	4,175
営業外費用合計	19,914	53,182
経常利益	17,737	59,897
特別利益		
固定資産売却益	557	280
投資有価証券売却益	108,001	—
特別利益合計	108,559	280
特別損失		
固定資産除却損	37	307
特別損失合計	37	307
税引前四半期純利益	126,259	59,871
法人税、住民税及び事業税	10,581	2,509
法人税等合計	10,581	2,509
四半期純利益	115,678	57,362

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	126,259	59,871
減価償却費	77,414	67,940
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,901	△49,169
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,000	7,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,321	7,820
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,942	2,967
受取利息及び受取配当金	△3,138	△259
支払利息	16,822	14,130
固定資産除売却損益 (△は益)	△520	26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△108,001	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△72,412	△17,320
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,252	△14,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,468	△13,683
その他	29,994	△36,596
小計	75,722	28,584
利息及び配当金の受取額	3,137	262
利息の支払額	△16,886	△13,834
法人税等の支払額	△5,049	△8,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,924	6,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45,191	△67,620
有形固定資産の売却による収入	557	400
投資有価証券の取得による支出	△1,251	△1,274
投資有価証券の売却による収入	146,345	—
その他	△85	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,373	△68,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	△200,000
長期借入れによる収入	100,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△165,782	△101,578
自己株式の取得による支出	△139	△48
配当金の支払額	—	△19,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,921	29,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,614	343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	143,992	△31,783
現金及び現金同等物の期首残高	1,196,549	1,190,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,340,542	1,159,074

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2014年4月1日 至2014年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	成形品	金型・技術	調整額	四半期損益計算書 計上額(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,882,463	178,427	—	2,060,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,882,463	178,427	—	2,060,891
セグメント利益	154,047	26,663	—	180,710

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自2015年4月1日 至2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	成形品	金型・技術	調整額	四半期損益計算書 計上額(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,964,287	178,520	—	2,142,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,964,287	178,520	—	2,142,808
セグメント利益	185,468	29,316	—	214,784

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。